

シンガポールでの小型脱水素 実証プロジェクトの取り組み紹介

2025年2月19日(水) ~ 2月21日(金)

千代田化工建設株式会社 フロンティアビジネス本部 水素事業部



目次

- 1. 水素・クリーンエネルギーの導入に向けて
- 2. LOHC-MCH(SPERA水素システム)
- 3. 大型水素サプライチェーン実証
- 4. 小型・分散型利用に向けての取組み
- 5. シンガポールでの小型脱水素実証プロジェクト

1. 水素・クリーンエネルギーの導入に向けて



- ・グリーン水素:水電解システム(トヨタ自動車)
- ・ブルー水素: 既存技術(SMR)+排ガスからのCO2分離・回収
- ・メタン熱分解による水素製造(豪州Hazer)

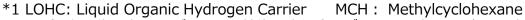
SMR: Steam Methane Reforming (水蒸気メタン改質) による水素製造

はこぶ・ ためる

- ・LOHC-MCH*1による水素輸送・貯蔵技術(自社技術)
 - ➡ 世界初国際間サプライチェーン実証済み
 - ↑本日のご説明事項
- •液化水素基本設計業務
- ・アンモニア合成/分解技術開発



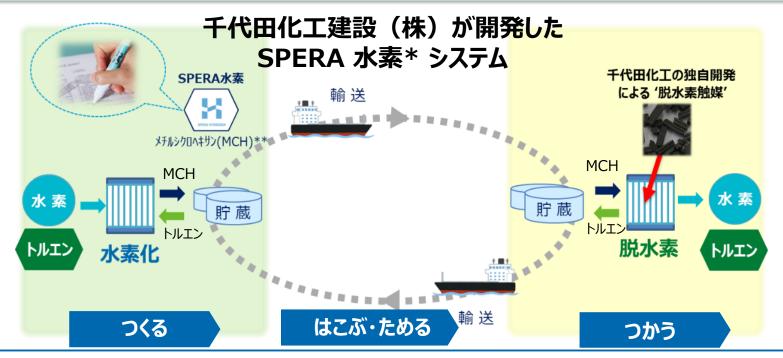
- ·e-fuel実証設備
- ・メタネーション実証設備
- ・燃焼排ガスからのCO2分離・回収・液化・貯留





2. LOHC-MCH (SPERA水素システム)

LOHC-MCH(SPERA水素システム)は、水素サプライチェーンにおける貯蔵・輸送や分散利用など、脱炭素社会の"鍵"として様々な場面での活用が期待されます。

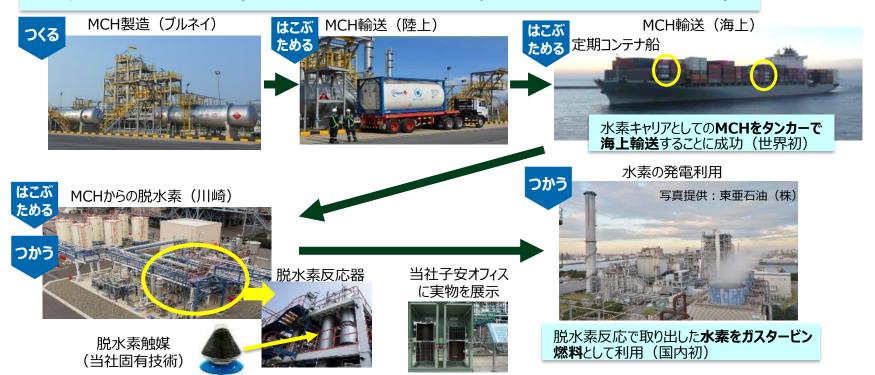


* SPERA: ラテン語で "希望" の意味

** メチルシクロヘキサン(MCH): トルエンと水素の化学反応により生成される常温・常圧で取り扱うことができる液体 Chivoda

3. 大型水素サプライチェーン実証

世界初の国際間水素サプライチェーン実証事業の完了(2020年12月)



4. 小型・分散型利用に向けての取組み

2016~2018年 技術検証完了 (NEDO助成事業)











SPERA水素型 オンサイト水素ステーション







フォークリフト

5. シンガポールでの小型脱水素装置実証プロジェクト

▶ 2022年3月

連携プログラムの一環で、当社独自の脱水素技術を基に

> 2023年10月

NTU (南洋理工大学) と 脱水素触媒の改良に関する共同研究を開始

当社が提供した小型脱水素装置を国内で製造し、

PSA社 Pasir Panjang へ輸送し、現地据付後、試運転を実施

▶ 2024年6月▶ 2025年5月

共同研究成果検証を目的に小型脱水素装置を用いた水素利活用実証運転

実証運転および連携プログラム完了予定

日本国内 協力会社にて 製造

陸上輸送 ならびに 海上輸送



現地据付および組立



脱水素反応器



脱水素触媒



左側から、

PSA社 Nelson Quek Resional CEO、

石川 星国在日本大使、NTU Lam Khin Yong副学長、

千代田化工 常務執行役員 春日原

2024年6月25日(火)運転開始式典

5. シンガポールでの小型脱水素装置実証プロジェクト



https://youtu.be/xvB9iqY86YM?si=3bUCmIM2rqUVrSvS

まとめ

- 1. 『水素』関連で、いろいろな取組みを実施
- 2. 水素をはこび・ためる手段の一例として SPERA水素システムをご紹介
- 3. 大型に限らず、小型・分散型向けの取組み紹介
- 4. 水素が普及していない国においても、新しいルール作りを必要とせず、『安全』かつ『安定』的に 水素利活用できることを実証中

ご清聴ありがとうございました





H2 & FC EXPO 当社特設サイトにて本セッションの資料ダウンロードが可能です



千代田化工建設㈱ H2 & FC EXPO出展事務局 MKT CONTACT@chiyodacorp.com

